

「タイ国におけるバラモン教について」

発表者 石井米雄 ('65 XI 22)

出席者 梅棹 藤岡 中尾 飯沼 岩田 上山  
石井 桑原 佐々木 谷 和崎 石毛

I. お守り (Phrá'kryāy) と占星術 (hōrásāt)

Isi. タイにおける三つの宗教レベルとして、バラモン教・仏教・アニミズムがある。Phiをアニミズム段階にある民衆の宗教として考えられてきたが、現在Phiは正面きつた宗教としてはとりあやられず、さげすまれている。国家レベルにおいてバラモン教神官のとり行う役割は、現在では、王の即位式と忠誠の水の儀式にしかない。一方バラモンの占星術は、個人レベルにおいて、民衆の宗教として現在はやっている。仏教は、民衆にとってあまりたよりにならない宗教であるが、仏像を首からぶらさげるお守りの効力は信じられている。占星術とお守りが民衆の宗教といえよう。  
1932年頃 〇ちこち

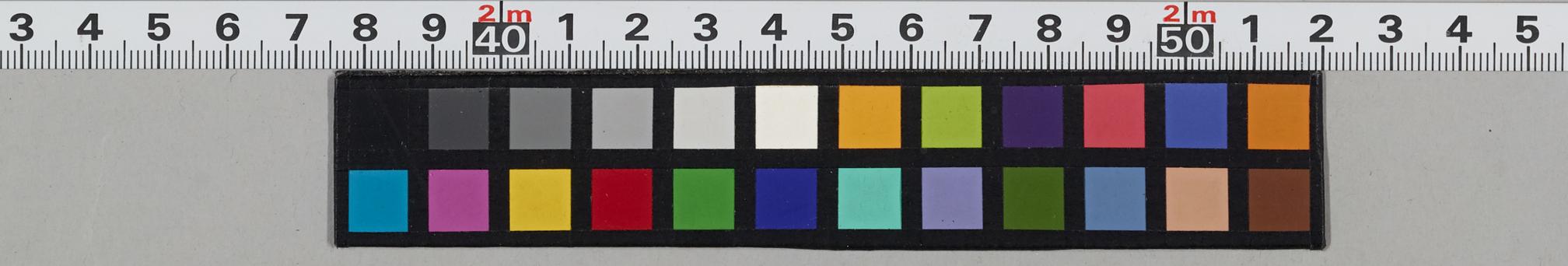
1) お守り (Phrá'kryāy)

Hs. 成田山のお守りとフラクルアンは別の配布方法か?  
Isi. 成田山とはちがう。買うのではなく、坊さんにもらうものであり、直接金を払わぬ。ニセモノもあるらしい。フラクルアンの一番の御利益は、刀で切っても身体に傷がつかぬということにある。  
Iw. ラオスでも、刀で叩こうとしても、手が動かなくなり切れぬという。買うお守りのためさせたら、やはり刀をふりおろすことが出来なかつたという例がある。  
Sa. お守りがローと関係したものがいいか?  
Iw. ラオスではサルのかたらのものがある。

2) 占星術 (hōrásāt) ホーラサ

僧侶のホーラサをやる人がいる

Isi. ホーラサは、バラモン僧と直接は結びつかず、本として現在残っている。  
Tn. 占星術に中国からの影響はないか?  
Us. 中国系国家では、占星術は国家の編成原理として使われている。



Isi. ハイネゲルデルンなどは、占星術に中国からの影響を考  
えている。

Sa. ホーラケのやり方は、ネパールのインド系農民と同じだ。  
中国の易系統の占星図と<sup>は別に</sup>ガラーマニズムの占星術の図は、  
関係ないか？

Uh. 中国は、筮竹で図はない。

Isi. タイの占星術に筮竹は使用しない。

インド  
↓  
東南アの占星術

## II ロー (Phi)

1) 現在ローはさげすまれている。

Us. バンコク市内にもある屋敷神はローと関係あるか？

Iw. ローと関係ないというが、同様、一本柱の上の祠は、ナン  
ベトナム、クメールでもある。ローのなれのはてが、バン  
コクあたりの屋敷神になったのではないか。

Us. ユーレイが出るというので、屋敷神の祭をしたときに、  
白衣のバラモン僧がでてきた。屋敷神がローなら、ローと  
アラマニズムの習合があるのではないか？

Isi. Phi<sup>h</sup>ok (オバケが出る。) Chya Phi (オバケが出るか?)  
ということのように、ローはオバケということばでさげ  
すまれ、礼拝の対象としては現在とりあつかわれず。

2) おかしローは礼拝の対象だった。

Iw. クメールでは、祖霊・農耕儀礼とローが結合している。

Isi, Sa. ローは、本来もっと農耕儀礼に結びついた存在だったろう。

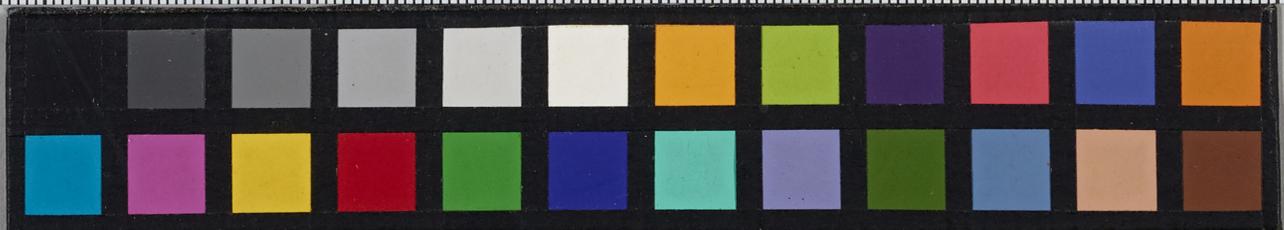
Isi. スコタイ朝の碑文に、Phnā'khā' Phuyphi は山に住み、スコ  
タイの他のローよりも偉大であり、スコタイ王が、このロー  
を正しく礼拝すれば国はすこやかであるが、正しく礼拝し  
なければ国が亡ぶとある。以前には、ローが正しい礼拝の  
対象とされている段階があるのだろう。

Nk. それなら、日本の山の神と同じだ。

Iw. 天皇の即位式に稲作儀礼が取り入れられている。東南ア  
ジアでは、ローや稲作儀礼が国家、国王に関係しない。  
それだけ、日本ではローが進んでいる。

3) ロー的なものはあちこちにある。

Sa. ネパールにはグームという山の神的存在が民衆の中に  
生きている。所によっては、グームは人格神となる。



ムンダ族には、ボンガという似たようなものがあるし、  
ドラビダには、ゴサインがある。ロー、ゴサイン、ブーム  
は偶像をもたぬ。神というよりは、カミサンという観念で  
ある。

Nk. どこでもローみたいなものは同じだ。

Tu. パフイリーをこれから調べにやならぬ。

### III 反宗教運動と近代化.

祖寧

Us. dechristianization, 廃仏毀釈に対応する反宗教運動が  
タイにないか? <sup>嶺</sup>

Isi. ヤマサート大学の<sup>嶺</sup>キリスト教徒(中国二世)にタイの仏  
教を近代化に対する障害と説く者が出はじめている。一方、  
西欧留学をした者達が YBAT を作っている。YBAT の  
リーダーが「仏教と経済」という本を出した。YBAT は、  
仏教は近代化への疎外要因ではないとし、出家に対する戒  
と在家の倫理をわけて考えようとする。サンカは別にある  
ものとして、それなりに尊重し、別に在家の教団化をはか  
る。セトルメント、教育に YBAT は力を注ぐ。

UR dechristianization はギリシアにもどううとするし、廃  
仏毀釈も古代へ帰る運動である。古事記、日本書紀、ギリ  
シア古典に対応するものがタイにあるか?

Isi. なし。

Us. ビルマでは、仏教以外の段階に、ナット信仰をおいて、  
復古的なよりどころとして利用した。

### IV 国家編成過程と宗教

#### 1) 国家形成と宗教

土位も

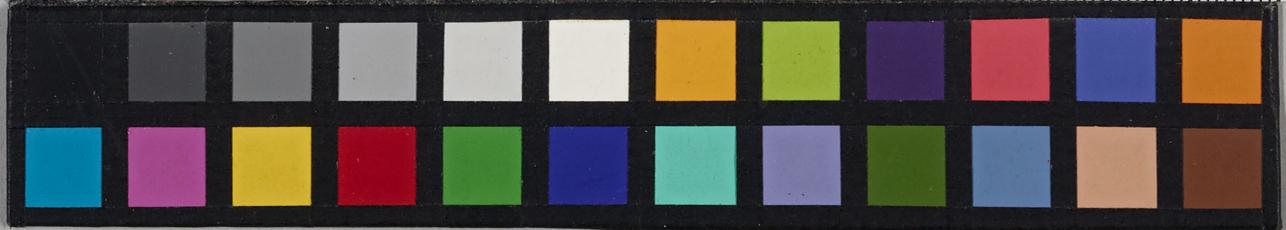
Us. クメールでは、王と民衆が宗教上は無関係というが、民  
衆は王の宗教をみとめなかったのか、宗教は、国家編成の  
弁別原理としてゆらかないのか?

Us., UR. 民衆と王の間に土位あたりで弁別原理がゆらまはしないか。

Isi. \*4カいの水を飲むのは土位である。

Iw., Isi. クメールで神殿を建設することは、即ち、都市建設と意  
味する。まお池がつくられる。

Us. 宗教は、まお人々のこの中にあるもので、宗教が政治  
にコミットするのは、あとの時期である... 政治的なもの  
になるのは、宗教のガラ7であると考えられているが、



逆に、宗教を信じているものがそれをささぐりて国家を編成する。国家が出来るときには、はじめに宗教が国家編成原理としてある。宗教が民衆化するときは、宗教の解体期であるとするのはどうか？  
日本でもフランスでも宗教が民衆化するのば、このような解体期である。

Hz. the Golden Bough に見ると、祭政一致が<sup>合</sup>解体するあたりから社会の重層化が起る。は内閣レインがある。

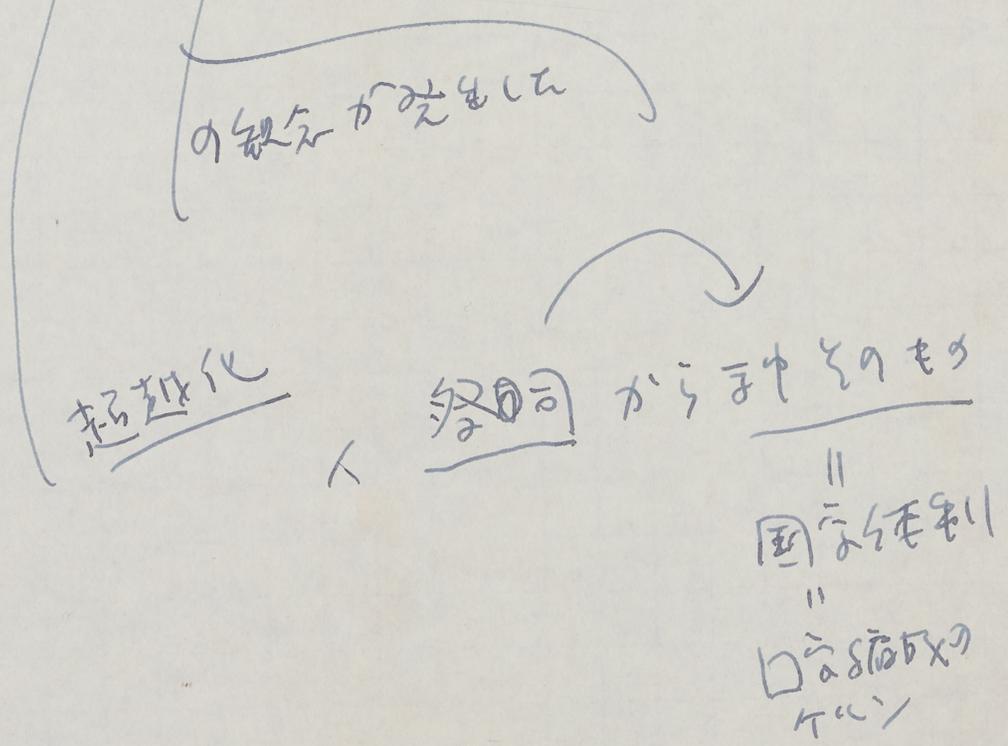
Us. native 宗教が新宗教と融合していく過程を西欧・日本では考える必要がある。  
王体などという日本の旧法における観念は、神王より来たものである。

Isi タイでは王の身体に対するタブーが多い。  
Us. 国王は incarnation であるということが、南アジアでの国家形成の原理として一時期あったと考えられる。

Nk. Incarnation 原理が安定すると王と民衆が別なものとなっていく。

Us. Ss. 仏教によって日本は<sup>に</sup>神聖王になる。ビルシヤナ仏のころ。また、それ以前の天武朝。天武の「大君は神にしませば」のころより神聖王が確立。天武帝は吉野にこもって、テハツしている。

Hz. 王権神授説は王そのものが神であるかどうかという点で、南アジアと違っている。



\* 石毛: 大化の元  
ミササキの利か  
マサキ

\* 東明は 大化の頃 派に 王

